



CS1D をお 買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

PM1D システムソフトウェア V1.62 について

PM1DシステムソフトウェアV1.62では、V1.60から以下の変更がございます。

【作成したデータの互換性について】

システムソフトウェアV1.62 で作成したデータ(シーン、各種ライブラリー、SETUPなど)をシステムソフトウェアV1.60 以前のシステムにロードすることはできません。ただし、システムソフトウェアV1.60より前のシステムで作成したデータは、システムソフトウェアV1.62のシステムにロードできます。

【補足説明】

ユニットネームのパネル表示

UNIT NAMEボタンをオンにしたとき、ユニットではない2TR IN、TB、EFF RTNはインプットチャンネルのショートネームがそのまま表示されるようになりました。

インプットチャンネルのオートネーミング機能

反転表示のUの文字をショートネーム欄に入力しなくても、4文字すべてが空白のときはポート(UNIT)ネームが表示されていました。V1.62では、反転表示のUの文字を入力しないと表示されないようになりました。

セレクトィブリコールでのRECALL PARAMETERの動作
セレクトィブリコールでRECALL PARAMETERがオンになっているシーンをリコールしたときに、タイトルがリコールされませんでした。V1.62では、タイトルもリコールされるようになりました。

GPI画面の表示

GPI OUT設定のGPI OUTステータス(L/H)とPOLARITY(ロー/ハイ)が実際の極性とは逆に表示されていましたが、V1.62では正しい極性で表示されるようになりました。表示の極性はこれまでと逆になりますが、V1.60以前に作成したデータはそのままお使いいただけます。

【V1.62 にバージョンアップする場合の注意】

V1.50またはV1.60からのバージョンアップ

CS1D、DSP1D、AI8、AO8をバージョンアップする必要があります。DIO8はバージョンアップする必要はありません。

V1.50より前のバージョンからのバージョンアップ

CS1D、DSP1D、AI8、AO8、DIO8のすべてをバージョンアップする必要があります。